

9月3日（木）甲賀市立水口小学校を訪問しました！

対談テーマ

小学校外国語(活動)で大切にしたいこと

今年度から小学校3・4年生での外国語活動、5・6年生での教科としての外国語科が開始されました。そこで、平成30年度から小学校英語についての専科指導教員が配置され、新学習指導要領における小学校英語教育の早期化および教科化に対応した、先進的な授業実践を行っている甲賀市立水口小学校を訪問しました。

訪問した委員

土井 真一 委員 藤田 義嗣 委員 岡崎 正彦 委員 野村 早苗 委員

甲賀市立水口小学校について

創立147年を迎える水口小学校は、古くは東海道の水口宿としてにぎわい、甲賀地域の政治・産業・文化の中心として栄えた地に位置しています。

「自ら考え、正しく判断し、実践できる子どもの育成」を学校目標とし、学校経営方針である「誰もが行きたくなる学校づくり」を通して、日々の教育を進めています。

【水口小学校の英語学習】

○「誰もが話したくなる英語学習」を目指す。

子どもがコミュニケーションの楽しさ、有用性を実感することで生涯にわたって外国語を使い続けようとする子どもを育成する。

○実践事例『甲賀市 PR 大作戦！

～外国の人に甲賀市の良さを伝えよう！

- ・ミシガン州の学生や甲賀市内に住む外国人に、ポスターにより、甲賀市の魅力を発信
- ・目的、場面、状況を明確にした言語活動の設定

- ・相手に伝えるために工夫する
- ・粘り強く取り組む
- ・学び方を身につける

意見交換より

委員:楽しみながら活動しているようだが、「わかった。できた。」と思う子どもが多くないのはどうしてでしょうか。

水口小:英語で話せるようにはなるが、自分のことを表現することが難しい様子。自分のことを表現する学習機会を繰り返し作ってきたいです。

委員:県への要望や意見などはありますか。

水口小:担任の負担軽減のためにも、英語専科の教員の数を増やしていただきたいです。

委員:ミシガン州の学校との交流はいい取組だと思っています。

水口小:小学生が外国語科の時間に作成したポスターを、市内中学生対象の短期留学事業でミシガン州の生徒に届けてもらいました。

委員:学んだことを使う機会を作っていくことが大切ですね。



教育委員の感想

<土井委員>

新型コロナウイルスの感染防止を図るという難しい学習条件の中で、充実した英語学習を行っていただけていました。失敗を恐れない雰囲気を作る先生方の配慮もあって、子どもたちは英語学習を楽しんでいる様子で、「英語に慣れる」という最初の段階において効果的な指導でした。これを引き継いで、コミュニケーション力を高めていくためには、実際に英語を聞き、話す機会を増やすことが大切であり、そのためには、英語専科指導教員の配置や ICT を通じた英会話の機会の充実などの条件整備を図る必要があると感じました。

<藤田委員>

小学6年生の授業で、英語をツールとしたコミュニケーションと、ALT(外国語指導助手)による日本語と英語の発音の違いを実演する場面を参観しました。英語専科指導教員の指導により学習が進み、子どもたちがALTと英語を通じて理解しあえる事の面白さを深めるものでした。また、姉妹都市ミシガン州の子どもたちとの交流を通じ、英語の楽しさを経験する取組も行われておりました。これらを通じ、成長していく子どもの英語への興味が深まることに期待を感じております。さらに水口の地域性と風土を育む教育環境にも感心致すものでした。

<岡崎委員>

英語専科指導教員とALTの2人の先生が、子どもたちに伝えること、教えること、聞かせることを分担しスムーズに授業が進みました。子どもたちの関心も途切れることなく大きな声で発音し、中学生とは違う言葉の学習が進んでいたと思いました。小学校では、英語の授業に不安な先生方もおられるので、英語専科指導教員を増やして、各校での指導体制を充実させることが生きた小学校英語につながると感じました。

<野村委員>

子どもたちが発音やリズムに興味をもつ様子がかうかがえ、楽しく授業をされているのが印象的でした。ただ、1人の英語専科指導教員が4校を担当されていることもあり、時間的な余裕がないといった課題を認識しました。今後、外国語教育を進める上で、子どもたちが英語で自分の思いを伝える体験を通じ、コミュニケーションを取ることの難しさ、大切さ、そしてすばらしさを感じることができればと思います。そして、「楽しい」「もっと話してみたい」という意欲を引き出し、小学校での英語との出会いが良い方向へ進んでいくことを望みます。



子どもの意欲を引き出す工夫がある授業でした。

滋賀県では、小学校英語教育の早期化、教科化に対応するため、「小学校英語パイオニア実践プロジェクト」を行っています。全19市町に小学校英語専科指導教員を配置し、先進的な研究実践の普及を目指しています。今後、より充実した外国語教育が推進されるように取り組んでいきます。

<教育総務課 企画係>